

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年3月1日（月）

2 確認箇所

- ・ F 1 タンクエリア
- ・ エリア P 1 南側の伐採木保管エリア

3 確認項目

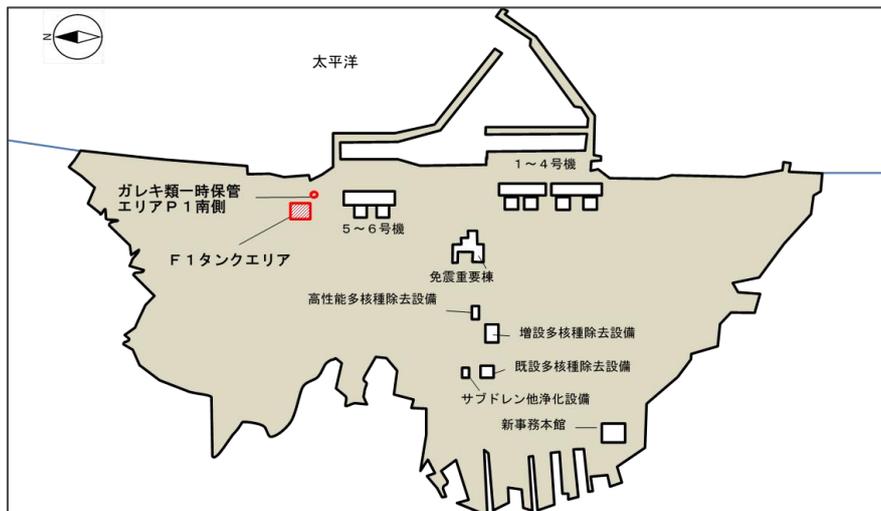
- (1) 地震発生後の状況確認
- (2) エリア P 1 南側の伐採木保管エリアの状況

4 確認結果の概要

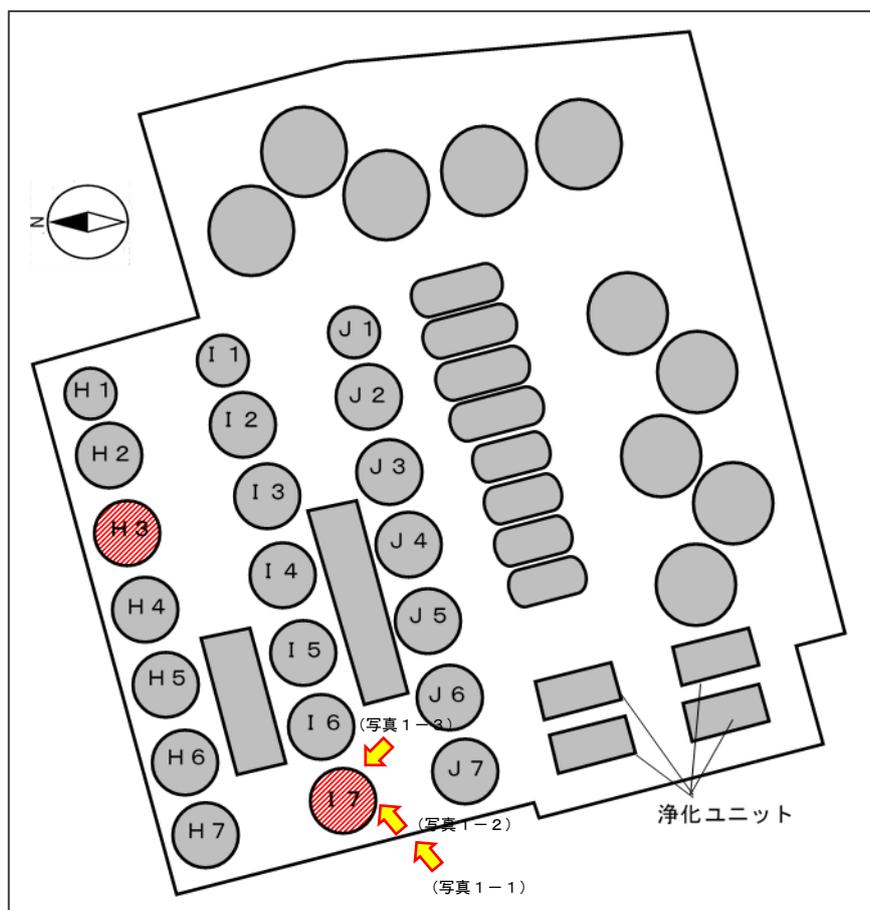
(1) 地震発生後の状況確認について

令和3年2月13日午後11時8分頃に発生した福島県沖を震源とする地震（マグニチュード7.3）により、F 1 タンクエリアのフランジタンク 2 基（H 3、I 7 タンク）のフランジ部からタンク内に貯蔵されていた水の漏えいが確認されていたことから、その後の対応状況を確認した。なお、前回確認時（[令和3年2月15日](#)）、H 3 タンクについてはタンク内に貯留されていた水の移送が終了し漏えいは停止していたが、I 7 タンクについては水の漏えいが継続していた。（図 1、2）

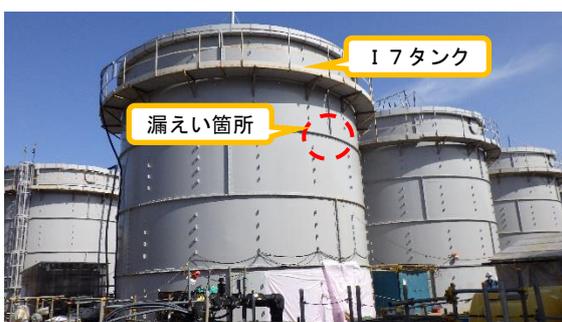
- ・ 現場確認時、東京電力社員が I 7 タンクに貯留されている水の移送を実施するための準備作業として現場確認を実施していた。
- ・ 目視の範囲では I 7 タンクからの漏えい継続の有無は確認できなかった。なお、I 7 タンクの漏えい箇所下部には前回確認時と同様に受けパン及び養生シートが設置されていた。（写真 1）



(図 1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) F1タンクエリア概略図



(写真1-1)
F1タンクエリア外観
(南西側から撮影)



(写真1-2)
I7タンク漏えい箇所下部の状況
(南西側から撮影)



(写真1-3)

I 7タンクの漏えい箇所の状況
(拡大写真、南東側から撮影)

(2) エリアP 1 南側の伐採木保管エリアの状況について

同伐採木保管エリアについては、昨年9月に作業標示札や消火器の設置がない等の管理の不備が保安検査官に指摘されていたことから、前回(令和2年12月24日)に引き続き、状況を確認した。(図1)

- ・当初、伐採木等が入ったフレコンバックは130袋程度仮置きされており、前回確認時には約30袋程度に減少していたが、今回確認時には搬出作業は終了していた。(写真2)
- ・東京電力によると、本年1月14日までに当該エリアに仮置きされていた伐採木の入ったフレコンバックを構内の一時保管エリアに搬出したとのことであった。



(写真2-1) 前々回の状況
(令和2年9月29日撮影)



(写真2-2) 前回の状況
(令和2年12月24日撮影)



(写真2-3) 今回の状況
(令和3年3月1日撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。